

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネクストエール立川教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 2日 ~ 令和7年 5月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 2日 ~ 令和7年 5月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 6月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の専門性の高さ（療育）	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、朝の打ち合わせ終了後に、療育準備を兼ね、児童の情報を交換する、対応についての意見を出し合う等に取り組んでいる。 障害特性や対応方法等についての動画研修や冊子での情報を共有し、自己研鑽している。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を有効に使い、計画的に研修を企画していく。 常に新しい情報をキャッチし、社会情勢や動向に合わせ、児童の療育の進め方を検討していく。
2	ワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> 働き方に合わせた柔軟な勤務形態 管理職へのテレワーク導入 全従業員と毎月の面談実施とヒアリングに基づく業務改善 タスク管理表導入による業務の効率化 本社と連携した残業要因への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職の定期的な臨店で教室内の状況を把握し安定した教室経営を継続していく。 業務内容や療育担当等、可視化することで職員が動きやすい環境を設定していく。 業務の効率化を徹底し、時間を有効に使うことで時間内に進めていく。
3	職員間の情報共有・連携	<ul style="list-style-type: none"> 朝の打ち合わせ、準備、そして情報共有の時間が確保できている。 シフトで参加できない職員への情報もしっかりと伝達できている。 療育の体制では、主担当職員からの指示を徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の時間での打ち合わせやその他共有事項については、時間を設定し、内容の充実と長引くことのないよう進めていく。 児童の様子等、掲示板を設置し、誰でも確認が容易にできるように工夫する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育（専門的支援加算）に対応できる職員が限定されている。	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育の時間が午後に設定されていることや、職員の経験年数、育成ができる環境が整っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育の時間帯の見直し、対応職員の育成を計画的に進めていく。
2	社員・パート・アルバイト職員の構成であるが、人材の育成が浸透できていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> 児童・保護者への対応、連絡帳や記録、事務処理等、職員間で偏りが見られた。アルバイトについては、限定的な働き方でもあり、育成の時間を取ることができていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな職員について、研修項目を立て児童や保護者への対応や、事務作業等計画的に進めていく。
3	保護者への連絡方法が主に電話や紙媒体であることから、利用回数の少ない家庭には連絡が迅速に行われないことがある。	<ul style="list-style-type: none"> 留守電やショートメールやメールも併用しているが、かけなおしや、確認に時間を要している。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉配信のツールを検討し、互いに確認が迅速に行われ、漏れがないようにしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ネクストエール立川教室
------	-------------

公表日 令和 7 年 6 月 25 日

利用児童数 19名

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1		1	全ての部屋や活動をの様子を見ていないのでわからない。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			1	手厚く、ケア、指導と記録もしていただいている。	これからも、適切な職員を配していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2			・各スタッフが子どもの検査結果も踏まえ、教育方針を共有して関わっています。 ・個人の特性や能力をきちんと把握し活動をさせてくれています。 ・利用を始めたばかりでまだ判断できない。	お子さまの理解が進むよう、今後も専門性を高めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2			・利用を始めたばかりでまだ判断できない。	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1		1	・利用を始めたばかりでまだ判断できない。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1	・利用を始めたばかりでまだ判断できない。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1		1	・利用を始めたばかりでまだ判断できない。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	1		宿題など個別指導をしていただいている。	宿題や、個別指導も含め、プログラムの工夫を図っていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	3	1	5	・まだ参加したことがない。 ・違うネクストエール教室に行って遊べた！ と楽しそうでした。	他事業所（ネクストエール立川上砂教室・万願寺教室）との交流は実施しているが、地域の子どもとの交流の機会は設けていませんでした。今後、利用者、または保護者からの要望があれば検討してきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	1	1	昨年は参加できませんでしたが、機会があればしたいと思います。	保護者の方々が参加いただけるような企画を進めていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2		1	連絡帳や先生から直接お話ししてもらい、状況の共通理解できている。	これからも、保護者の皆様にはしっかりと情報をお伝えしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16			1	・面談では毎回いろいろと相談にのっていただき大変丁寧に対応していただいている。 ・利用開始後、まだ面談していない。	これからも、計画的に面談を実施していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1			困りごとの相談に乗っていただき心強くなります。	保護者の方々の困りごとに、今後も迅速・丁寧に対応していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	1	5	・兄弟同士はまだ参加したことはありませんが、保護者や参観期間など設けてくれています。 ・兄弟同士のイベントはわからないのですが、保護者向けの対応はしていただいていると感じます。	・ご兄弟向けのイベントについてはご要望があれば検討していきます。 ・保護者の方々には、教室での参加をこれからも継続して進めています。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3		1	適切に対応いただいている。	これからも、職員全員で、相談や申し入れに対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1			メールやアプリで迅速に情報共有できるとありがたい（電話以外の手段として）	保護者の方々との情報共有が迅速に進むよう、方法について検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16		1		・通所日でない日でも、子どもが「先生に会いたい」「教室に行きたい」と言っている ・外遊びや調理実習が好きでそのプログラムのある日は朝からワクワクしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2			今年安心しても利用させていただいています。 満足しております。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネクストエール立川教室				公表日 令和 7 年 6 月 25 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		アセスメントシートは作成しているが実施できていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	児童発達支援から利用している児童は共有している。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	該当者なし	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	本人や保護者からの希望がない	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			

保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	参加希望の保護者が少なく、開催できなかつたが予定はある。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		